

2021年11月10日

JP 楽天ロジスティクス株式会社  
楽天グループ株式会社  
日本郵便株式会社

「楽天スーパークロジスティクス」の物流センターを神奈川県大和市で稼働開始

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 衣川 和秀）と楽天グループ株式会社（東京都世田谷区、代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史、以下「楽天」）の合弁会社であるJP 楽天ロジスティクス株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 謙山 親、以下「JP 楽天ロジスティクス」）は、「楽天市場」出店店舗向けの総合物流サービス「楽天スーパークロジスティクス」の物流センターとして、神奈川県大和市の「Rakuten Fulfillment Center Chuorinkan（楽天フルフィルメントセンター中央林間）」を稼働開始しましたので、お知らせします。

「楽天スーパークロジスティクス」は、「楽天市場」出店店舗の商品の保管から出荷までを一括して受託する総合物流サービスです。「ワンデリバリー」構想<sup>注1</sup>のもと、千葉県市川市、流山市、習志野市、大阪府枚方市および兵庫県尼崎市<sup>注2</sup>の物流センター<sup>注3</sup>にて、商品の保管から出荷まで、高品質な物流サービスを提供し、安定したEC店舗運営に寄与してきました。これらの既存の物流センターが順調に稼働率を上げていることから、このたび新たに物流センターを開設し、本サービスのさらなる処理能力向上を図ります。

新センターにおいては、これまで培ってきた倉庫内オペレーションのノウハウを生かし、倉庫運営のさらなる効率化・省人化に取り組みます。「楽天スーパークロジスティクス」の拠点は、今後も順次拡大予定です。

- (注1) 昨今、国内物流業界において不在再配達の増加や人手不足などが社会問題化し、EC店舗が安定的に店舗運営を行うことが困難になっています。こうした背景から、楽天は、「楽天市場」における商品の注文からお届けまでの仕組みを一貫して管理する包括的な物流・配送サービス「ワンデリバリー」構想を掲げ、「楽天スーパークロジスティクス」を通じてさまざまな施策に取り組んできました。
- (注2) 株式会社関通の物流施設を「楽天スーパークロジスティクス」の物流拠点として運営しています。
- (注3) JP 楽天ロジスティクスは、2021年7月に楽天の物流事業を承継し、「楽天西友ネットスーパー」の物流センターを除く、物流センターの管理・運営を引き継いでいます。



郵政創業150年

## ■新施設概要

名称： Rakuten Fulfillment Center Chuorinkan

物件名： ニッセイロジスティクスセンター横浜町田（ダイワコーポレーション横浜町田営業所）

所在地： 神奈川県大和市中央林間 7 丁目 12 番 2 号

延床面積： 約 28,000 坪（約 9.5 万平米）

賃借面積： 約 12,000 坪（約 4.2 万平米）

建物階数： 地上 5 階建

【「楽天スーパーロジスティクス」について】<https://logistics.rakuten.co.jp/>

「楽天スーパーロジスティクス」は、「楽天市場」出店店舗の商品の保管から出荷までを一括で受託する総合物流サービスです。きめ細かなオペレーションで、入荷から配送まで高品質な物流サービスを提供します。店舗様は、物流業務をアウトソーシングすることで、商品企画や販売促進といった業務に集中することが可能となります。

以上



郵政創業150年